

# Green Brave

## #52 埼玉 GB GR Supra GT4 EVO2

2025年3月22日(土)

BRIDGESTONE

Super Taikyu

Japanese Endurance Race

ENEOS

ENEOS スーパー耐久シリーズ 2024 Empowered by BRIDGESTONE 第1戦 Race1  
もてぎスーパー耐久 4Hours Race (4時間レース) モビリティリゾートもてぎ (栃木県茂木町)

### ■ 予選1位からスタートし、苦しみなながらも3位表彰台を獲得 ■

Race1 決勝結果 (ST-Zクラス)

#52 埼玉 GB GR Supra GT4 EVO2

(山崎 学 / 吉田広樹 / 服部尚貴 / 野中誠太)

決勝: 3位 (114周、4時間02分53秒230)

予選: 1位 (合算タイム: 3分58秒315)



2025年のスーパー耐久がもてぎで開幕。今年もジェントルマンドライバーの山崎選手と、GBドライバーの吉田選手、服部選手、野中選手の4人が出場します。クルマはアップデートが施された、GR Supra GT4 EVO2です。開幕戦は土曜日にRace1の予選と決勝、日曜日にRace2の予選と決勝が行われる2レース制。決勝のレース時間はどちらも4時間です。

土曜日の天候は晴。Aドライバーの予選は8時20分から行われ、山崎選手が3周目に1分59秒828をマーク。トップで予選を終えました。続くBドライバーの予選は9時15分から行われ、吉田選手が3周目に1分58秒487をマーク。両ドライバーの合算タイムにより、Race1の予選1位を獲得しました。GR Supra GT4 EVO2に続くのは#25、#26の日産Z勢。GR Supra GT4 EVO2には厳しい性能調整が課されており、決勝でもこの位置関係をキープできるかどうかは未知数です。

決勝は13時04分から行われ、スタートドライバー、吉田選手がトップをキープして1周目を終了。予選2位の#25Zのペースが速く、吉田選手と

の差を徐々に詰めていきます。5周目の3コーナーで吉田選手は#25Zに抜かれ、ポジションダウン。今度は予選3位の#26Zの追撃を受けます。なんとかポジションをキープしながら周回を続ける吉田選手ですが、22周目、#26Zに抜かれてポジションダウン。事前の予想通りトップは2台の日産Zとなり、吉田選手は3位をキープします。4位のクルマとは大きな差がついており、吉田選手は集中力を切らさず周回。1時間経過後、ライバルが次々とピットインに入りますが、吉田選手はピットに入ることなく走行を続けます。41周目、ライバルの中で最も遅いタイミングで吉田選手がピットイン。店舗メカニックが給油とタイヤ交換を行い、山崎選手が乗り込み、コースに復帰します。

山崎選手の順位は4位。山崎選手はプロドライバーを相手に安定感のあるペースで4位をキープ。54周目には上位のトラブルにより、3位に上がります。67周目と68周目、2台の日産Zが相次いでピットに入ったために山崎選手はトップへ。劣勢ながら、必死のドライビングを見せます。70周目、Aドライバーの乗車義務時間(1時間)をクリアした山崎選手がピットイン。服部選手に交代し、給油とタイヤ交換を終え、ピットアウトします。コースに復帰した服部選手の順位は3位。アンカーの野中選手を含め、最も効率良いピット戦略をとるために短いステントになる予定です。作戦通り、76周目に服部選手がピットイン。野中選手に交代し、給油のみでピットアウトします。

コースに復帰した野中選手の順位は4位。表彰台を目指してペースアップを図りたい野中選手ですが、80周目にFCY(フルコースイエロー)が導入された際、他クラスの車両が追突。これにより、車体後部を損傷し、バンパーを引きずりながら走行します。FCYが解除されたタイミングでバンパーが外れたものの、バンパー回収のために再びFCYが導入され、81周目に解除。マフラーが垂れ下がった状態ですが、修理を指示するオレンジボール旗の掲示はなく、走行を継続。大きなペースの乱れはなく、82周目には上位のピットインにより、3位へ。90周目から#25日産Zを追いかける展開となり、野中選手は周回を重ねる毎に差を詰めていきますが、25秒差まで迫ったところでチェッカー。日産Zの牙城を崩すことはできませんでしたが、目標通り、GR Supra GT4 EVO2を使うチームのトップを獲得し、チーム力を証明しました(Race2に続く)。



DRIVERS VOICE

山崎 学選手

見ての通りです。勝負できる状況じゃないし、レース前からこういう結果になるのはわかっていました。ここで言うことではないのですが、ちょっと公平さが欠けているという印象です。それでもドライバーはみんな無理していっぱい走りまわりました。レース中、いろいろなことがあり、反省する点もあるのですが、現状、これ以上は難しいと思います。明日はまた気持ちを切り替えていくのですが、いろいろ見直してもらわないといけないこともあります。公平な勝負がしたいですね。

吉田広樹選手

日産 Z の速さは予想していたのですが、きつかったです。速い人たちをおさえるのに一生懸命で、結局、おさえることはできませんでしたが、疲れました。もうちょっと上位をキープしたかったのですが、ペースもいっぱいでした。誠太が追突され、オレンジボールの旗が出され、ピットに戻るようになるかなと思っていましたが、運よくそれはありませんでした。各々反省しなければいけない点があるにせよ、底力を発揮し3位に入れたので、最低限のレースはできたと思います。

服部尚貴選手

いろいろあってクルマがかなり壊れてしまいました。明日もレースがあるので今夜はメカニックが大変そうです。自分が運転した時はクルマが軽いし、タイヤも新しいので調子良かったです。予選はうちがとったのですが、今年は Z が速すぎるというか、Z のラップタイムが良いです。決勝でワンツーをとられ、別の Z もすぐ後ろまで来たので、今年はスーラ勢にとっては難しい1年になりそうです。明日もレースがあるので、何とか表彰台の一角に入り、開幕戦を終えたいと思います。

野中誠太選手

とりあえず走りきることができて良かったです。バンパーの状況は自分の目からはわからないので、無線を通して教えてもらっていました。外れてくれて良かったです。最後まで本当に走りきれたことが全てかなと思います。マフラーも外れかかっていたので、縁石に乗らずに、極力振動を与えず、チェッカーまで走り切ることを優先にやっていました。3人が作ってくれた大きなギャップがあったので、ケアすることに専念できました。表彰台に乗り、ポイントをとれて良かったと思います。

ST-Z クラス Race1 決勝結果

順位	チーム	周回数
1位	raffinee 日産 メカニックチャレンジ Z NISMO GT4 (Z NISMO GT4)	114
2位	raffinee 日産 メカニックチャレンジ Z NISMO GT4 (Z NISMO GT4)	114
3位	埼玉 GB GR Supra GT4 EVO2 (GR Supra GT4 EVO2)	114
4位	シェイドレーシング GR Supra GT4 EVO2 (GR Supra GT4 EVO2)	113
5位	Hitotsuyama Mercedes-AMG GT4 (メルセデス AMG GT4)	113
6位	NANIWA DENSO TEAM IMPUL Z (Z NISMO GT4)	113

出走 11 台 トップ 6 まで

ST-Z クラス ポイントランキング

順位	車番	チーム	ポイント
1位	26	TEAM ZEROONE	20
2位	25	TEAM ZEROONE	15
3位	52	埼玉 Green Brave	14
4位	885	SHADE RACING	10
5位	21	Hitotsuyama Racing	8
6位	20	TEAM IMPUL	6

上位 6 位まで

Green Brave PARTNERS



赤城車体工業株式会社



株式会社アルシエ



株式会社エイテック



株式会社 FM NACK5



株式会社岡崎巧芸



株式会社カーグラス・JP



埼玉群スリーボンド株式会社



株式会社三和広告社



JU 埼玉オートアクション株式会社



株式会社西武ライオンズ



ティーズ・ワークス



株式会社デンソーソリューション



東京麒麟ビレッジサービス株式会社



トヨタホーム東京株式会社



トヨタモビリティパーツ株式会社 埼玉支社



富士フイルムビジネスソリューションジャパン株式会社



有限会社 MY CARS



マックメカニクスツールズ株式会社



丸和工業株式会社



Mechanix Wear LLC



株式会社リバイバルマネジメント



株式会社リビコー